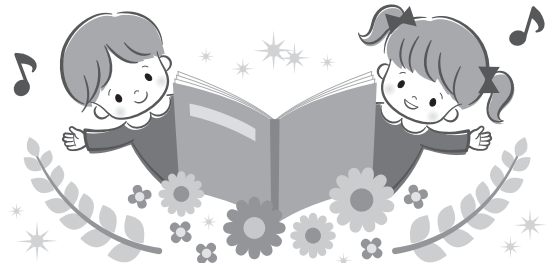


～心に残る“声の贈り物”～

幼児からの『音読コンクール』〈申込書と参加券〉

幼年国語教育会では、お子様の成長の励みとなるよう、音読コンクールを行っています。メディアに収録した、幼稚園・保育園のクラスや学年全体など団体での音読を募集します。「第1部門」は当コンクールの参加を主目的とする音読で、「第2部門」は発表会などの行事で行われた音読でご応募いただけます。どうぞふるってご応募下さい。



主催：幼年国語教育会 後援：読売新聞社／古典の日推進委員会
株式会社 登龍館／国語力 才能開発研究会

古典の日

申込受付期間

令和6年
9月2日(月)～
10月25日(金)
必着

P.3の参加申込書に
必要事項を
記入してお申し込み

応募期間

令和6年
9月2日(月)～
11月1日(金)
必着

収録したメディアに
参加券を添えてご応募
※P.2-3「応募の方法」を
ご確認ください

結果

令和6年
12月上旬発表

上位入賞園は
ホームページ上で
12月2日に発表予定
応募されたメディアは、
12月中旬以降に返却

*12月発行の「幼年国語教育会だより」
でも発表予定。

*上位入賞園の映像はホームページで公開予定。 *応募された音読の映像は、イベント等で使用する場合がございます。

◆第1部門◆

最優秀賞 読売新聞社賞 優秀賞(金・銀・銅) 優良賞 ほか

当コンクールへの参加を主目的とする音読で、ご応募いただく部門

◆第2部門◆

幼年国語教育会賞 読売新聞社賞 ほか

発表会等の行事で行われた音読で、ご応募いただく部門

参加費

メディア1本につき
3,000円
(消費税込み)

*1クラス(または複数クラスの合同)ごとに、
メディア1本ずつに分けて収録の上ご応募下さい。

収録時間

15分以内

お問い合わせ先

〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央23-11-5F
(株)登龍館 内
幼児からの『音読コンクール』事務局

0120-11-9511 (フリーダイヤル)

受付時間：土日祝日を除く午前9時から午後5時まで

FAX 045-943-8700

『音読コンクール』団体の部 概要

	第1部門 当コンクールへの参加を主目的とする音読で、ご応募いただく部門です。	第2部門 発表会等の行事の部門です。
応募規定	音読コンクールの為に園児の団体音読を収録したもの。 A課題(絵本1作)とB課題(名詩名文1作)の計2作で ご応募下さい。 必ず絵本を読んでいる姿を収録して下さい。	昨年11月5日から今年の締め切り日までに開催した 行事の本番での園児の団体音読を収録したもの。 例として、発表会、クリスマス会、 卒園式、敬老の日、入園式、参観日など。
収録時間	15分以内	15分以内
参考作品	A 登龍館発行の絵本 (花園文庫、仲良し文庫、出会い文庫、二葉文庫) B 名詩名文例 ・諺10まで ・俳句8まで ・百人一首5まで ・漢文(漢詩など) ・雨二モマケズ ・枕草子 ・学問ノススメ ・報徳訓 ・かぐや姫のおひたち ・登龍館発行「愛誦童謡集 ぴよんぴよこ兔」など	団体音読を収録したものであれば 特に規定なし。
参加区分	年長の部、年中の部、年少の部、年少未満の部 ※	学年全体・学年混合・クラス
賞	最優秀賞、読売新聞社賞、優秀賞(金・銀・銅)、優良賞ほか	幼年国語教育会賞、読売新聞社賞ほか

※参加本数が少なかった場合は「年少・年少未満の部」とさせていただきます。

◆申込の方法◆

P.3の**参加申込書**に必要事項を記入し、**10月25日(金) 必着**でP.4のお申し込み先までFAXか郵便でお早めにお送り下さい。

◆応募の方法◆

1 作品選び

『音読コンクール』団体の部第1部門は、上記参考作品A・Bの中から、それぞれ1作品ずつ(合計2作品)選びます。
第2部門は団体音読を収録したものであれば、特に規定はございません。

2 撮影準備

昨年11月5日から今年の締め切り日までに収録したメディアでご応募下さい。
参加している園児全員が映るように撮影して下さい。(カメラのズーム・移動は可。全身を映すように撮影して下さい)
なお、音読シーンの収録はワンカット(一発撮り)で行い、つぎはぎ編集を行わないで下さい。
再生時に音声のボリュームが適切となるよう収録の際にご留意下さい。
ワイド画面等ではなく標準モードで撮影して下さい。

3 撮影・収録

第1部門は選んだ作品(A課題とB課題)を、第2部門は任意の作品を、以下の順に**各15分以内**で収録して下さい。

①園名 ②学年(年少未満は年齢) ③作品(A課題、B課題) ④収録年月日

すでに収録済みの場合、この順番通りでなくても構いません。

4 ファイル・保存方法 ※DVD-Video方式は廃止となりました。

MP4形式・MPEG-2形式・AVCHD形式のいずれかの動画形式で、ファイルに名前を付けて、
片面一層DVD-RまたはCD-R、USBフラッシュメモリー、SDメモリーカードのいずれか(ブルーレイ不可)に動画データのまま、
保存して下さい。最後に必ずパソコンで再生ができるかご確認下さい。
なお、iPhone・iPadで撮影された動画データはApple社独自の規格の為、ご応募できません。ご了承下さい。

5 再生の確認

必ずパソコン、または、DVDプレーヤーで再生ができるかご確認下さい。
DVDの場合は、ファイナライズ処理(クローズ処理)を行って下さい。

万一に備え、元データを
別に保存して下さい。

6 参加券をケースに添付

P.3の参加券に必要事項を記入して太線で切り取り、DVD・CDの場合はケース表面に貼り、USB・SDカードの場合は小袋等に
入れて袋にしっかりと貼って下さい。収録したメディア本体にも「園名・学年」がわかるように記載等をお願いします。

7 応募作品の郵送

収録したメディア(参加券を添付したケースに入れる)を、P.4の【各地区郵送先】の『音読コンクール』事務局までご送付下さい。なお、参加費は別途ご請求致します。締め切り厳守をお願い致します。



※参加区分の欄に、学年全体での参加の場合は学年と人数を、クラスでの参加の場合は、学年、クラス名、人数をご記入下さい。



一つの園から複数のクラス、学年が応募される場合、参加券はコピーしてご使用下さい。

各部門の記入の仕方

第1部門

記入例 年長で3クラスお申し込みの場合
「年長(3)本」

第2部門

記入例 ①学年混合での発表の場合
「長・中・少・未(1)本」

記入例 ②学年ごとの発表の場合
「長・中・少・未(2)本」

申込の締切日
10月25日(金)必着

▼第1部門 参加券

心に残る“声の贈り物”『音読コンクール』参加券
..... 第20回 団体の部【第1部門】

園名 _____ 担当者氏名 _____
所在地 〒 _____ 電話 () _____

参加区分 (※)	学年全体での参加	クラスでの参加
	年長・年中・年少・未満 人数()名	年長・年中・年少・未満 ()組()名

作品名 A _____ 収録時間 _____ 分
B _____ 収録時間 _____ 分

収録年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

メディア制作機器 パソコン・ビデオカメラ・その他() _____

▼第2部門 参加券

心に残る“声の贈り物”『音読コンクール』参加券
..... 第20回 団体の部【第2部門】

園名 _____ 担当者氏名 _____
所在地 〒 _____ 電話 () _____

参加区分	学年全体での発表	クラス単位での発表
	年長・年中・年少・未満	年長・年中・年少・未満 ()組

学年・クラス
その他 _____
*学年混合やクラス混合等、詳細をご記入ください。

作品名 _____ 収録時間 _____ 分
行事名() _____

収録年月日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

メディア制作機器 パソコン・ビデオカメラ・その他() _____

キリトリセン

第20回『音読コンクール』 団体の部参加申込書	ふりがな				担当者氏名
	園名				
	園住所 〒				
					電話 () _____
	第1部門	年長()本	・年中()本	・年少()本	・未満()本
第2部門	行事名() / 学年(長・中・少・未) / 本数()本				

*記入漏れのないようお願い致します。

各地区お申し込み・郵送先

◆登龍館 大阪本社 〒543-0001 大阪市天王寺区上本町6-3-31-1301
TEL 06-6773-3931 FAX 06-6773-3953

◆登龍館 埼玉 〒330-0852 さいたま市大宮区大成町3-530-1-3F
TEL 048-782-7871 FAX 048-782-7872

◆登龍館 千葉・横浜 〒224-0032 横浜市都筑区茅ヶ崎中央23-11-5F
TEL 045-949-6220 FAX 045-943-8700

◆登龍館 名古屋 〒464-0850 名古屋市千種区今池4-12-10
TEL 052-731-3171 FAX 052-731-3173

◆登龍館 福岡 〒810-0013 福岡市中央区大宮2-6-11-2F
TEL 092-791-1827 FAX 092-791-1826

◆注意事項◆

- * 参加券の無いメディアは無効ですので、ご注意ください。
- * 締め切り厳守で、必ず期間内にご送付下さい。
- * 第1部門は、クラスまたは学年全体でご応募下さい。

◆審査に当たって◆

主に以下の項目について審査します。

- 〈第1部門〉 発声・表現・姿勢・同調性・内容理解
- 〈第2部門〉 企画・独創性・発声・表現・同調性

